

親睦バス旅行

富岡製糸場から上田大河ドラマ館と松代への旅

平成 28 年 10 月 5 日（水）

台風接近の予報に心配しながら迎えた当日、曇りながら時々晴れたり、また小雨だったりの天気で、このような研修旅行には良い日となりました。客員の平島佐一先生にもご参加いただき、総勢 49 名で 1 台のバスに収まり、和気藹々の旅行がスタートしました。

世界遺産 富岡製糸場

日本の近代化の幕開けは製糸から始まりました。岡谷の片倉工業が建物を守ってきたことなど、誇らしい思いで説明をうけました。さすが世界遺産、平日にも関わらず大勢の見学者がいて、混雑していましたが、しっかり説明を聞いて、学習いたしました。

平島先生の講義

バスの中で、平島佐一先生が製糸の歴史、諏訪の機械製糸の出発点の話をしていただき、一同感心すること頻りでした。先生が清陵でご指導された「清陵図書館報」を回していただき、県下初の製糸工場が地藏寺の場所にあったことなど、初めて知ることばかりでした。

上田 真田丸 大河ドラマ館

上田は真田丸フィーバーで、大変賑わっていました。駐車場から 10 分ほど坂道を歩き、上田城内にある旧市民会館がドラマ館となっています。ドラマのクライマックス、大坂の陣において、戦国時代最後にして最強の砦、「真田丸」の大セットを背景に皆で記念撮影。ドラマの美術の世界の紹介、上田市でのロケ風景など、「真田丸」の世界を体感できました。



真田十萬石の城下町 松代 真田宝物館など

上田から一路松代へ。ここでは真田のホンモノを体感いたしました。信繁の兄信之を藩祖とする松代藩真田家伝来の大名道具をはじめ、信繁・昌幸・小松姫など、真田丸に登場する人物たちの、まさにホンモノにふれて、大興奮。上田・松代間をつなぐ往復シャトルバスも運行しているそうです。松代はゆっくり散策できたらよいですね。

今回のバス旅行について

同窓会のバス旅行は、昭和33年頃から実施しているようで、当時は毎年行っていたようです。今は個人旅行主流の時代ですが、客員の平島先生、また高校4回の野口様から、一番若い長野支部の役員のお二人（高校39回）まで、二葉同窓会の名のもとに、ご参加いただけることは、本当にありがたいことだと思います。

4月から櫻田副会長が企画・運営すべてを引き受け、伊那バスさんと詳細を練ってきていただきました。伊那バス社長の奥様の藤沢さんにもご参加いただき、伊那の銘菓も頂戴しました。添乗員さん、ガイドさん、運転手さんも、大変良い方々にめぐまれて、楽しい研修旅行となりました。皆様、本当にありがとうございました。